

茨城県女性農業士会が担い手育成に関する研修会を開催しました！

茨城県女性農業士会※（根本礼子会長）は、担い手育成や地域農業の振興に向けた会員の資質向上の一環として標記研修会を開催し、新規就農者や就農希望者をゲストパネリストに迎えたパネルディスカッションを行いましたので、当日の様子を提供いたします。

開催概要

- 日時** 2024年2月9日（金）13：00～15：00
- 会場** 小美玉市四季文化館みの～れ 風のホール（小美玉市部屋1069）
- 出席者** 約80名（内訳：女性農業士56名、県関係機関等25名）
- 内容**

テーマ：就農支援とは～新規就農者の現状から就農支援を考える～

〈登壇者〉

- ・新規就農者
海野雅俊氏（2018年就農、常陸大宮市、トマト栽培）
飯島昌彦氏（2022年就農、行方市、ネギ栽培）
- ・独立就農を目指す茨城県立農業大学校の学生 3名
- ・女性農業士 4名
- ・コーディネーター 茨城県農業総合センター 専門技術指導員

○パネルディスカッションについて

新規就農者や独立就農を目指す県立農業大学校生をゲストパネリストに迎え、新規就農者等の実体験に基づく就農前後に必要な支援と、それに対して女性農業士から伝えたい内容について意見交換を行いました。登壇者からだけでなく、会場からも積極的な発言があり、活発な意見交換が行われました。

参加した女性農業士からは、「新規就農者や就農希望者が目標を持って取り組む姿勢を応援したい」「若い人はアンテナが高く、考えが新鮮で、自分も励まされた」といった感想が聞かれました。

今後も県女性農業士会では、担い手支援を重点課題と位置づけ、地域における食育活動や就農相談等を行ってまいります。

○ゲストパネリスト (Q) と女性農業士 (A) との主なやりとり

Q. トマト栽培を行っており、農地の規模拡大を検討している。生産量を増やす上で新たな販路が必要となるが、どうすれば良いか。

A. トマトには様々な色や大きさの品種がある。取り扱う種類を多くすることで、顧客の要望にもきめ細かく対応できるし、数種類を詰め合わせにする等、売り方も工夫できる。

コンテストで受賞すれば商談でもアピールできる要素になるため、積極的に出品することをお勧めする。

Q. 人手不足のため従業員を雇用する予定。女性にとっても働きやすい、選ばれる職場が知りたい。

A. 男女別の更衣室やトイレ等が整備されている職場は安心して働けると思う。求人の際のPRにもなる。

※茨城県女性農業士会とは

農業経営と農村生活の向上に意欲的に取り組む女性リーダーとして県から認定された「女性農業士」を会員とした組織（会員104名）。

県内12地域に支部を置き、会員の資質向上、農業経営や担い手育成、地域農業の振興を図る活動に取り組んでいます。

〈パネルディスカッションの様子〉



【問合せ先】

茨城県農業総合センター

企画情報部企画調整課 担当:久保田

TEL: 0299-45-8321

※写真提供を希望される方は、問合せ先まで御連絡ください。